

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル JA飼料用米対応資金の創設

JA名 JAバンク福島（福島県）

1 動機 (経緯)	需給均衡による米価の安定を図るためには、飼料用米の生産拡大を図っていく必要があります。 一方、飼料用米は、国の補助事業である水田活用の直接支払交付金（支払時期は翌年 3 月まで）が収入の大部分を占め、経費の支払いが先行することとなるため、交付金支給までの稲作農家の資金繰りが課題となっています。
2 概要	これらの課題解決に向け、稲作農家が安心して飼料用米の生産拡大に取り組むことができるよう、水田活用の直接支払交付金が支給されるまでのつなぎ資金を融通する「JA飼料用米対応資金」を新たに創設しました。 なお、稲作農家の負担を軽減するため、JAバンクの利子補給制度（最大 1 %）を適用しています。
3 成果 (効果)	平成 27 年度実績は 42 件 61 百万円 飼料用米拡大に取り組む稲作農家の資金繰りを支援しました。
4 今後の予定 (課題)	この資金は平成 28 年度以降も取り扱います。稲作農家の資金繰りの安定化による飼料用米の生産拡大が期待されます。 JAバンク福島は、引き続きJAバンクの利子補給制度を適用し、県内稲作農家を支援して参ります。

